

ブレーキ事業の競争力を強化

株式会社アドヴィックス（社長：小木曾聡、以下「アドヴィックス」）、豊生ブレーキ工業株式会社（社長：島貫静雄、以下「豊生ブレーキ」）とアイシン精機株式会社（社長：伊原保守）は、ブレーキ事業の競争力強化をねらいに、アドヴィックスが豊生ブレーキに新たに資本参画し、子会社とすることで合意しました。

アドヴィックスは、ブレーキ事業の競争力強化として、制御ブレーキ製品の生産集約を進めてまいりましたが、今般、基本ブレーキ^{※1}事業全般における競争力を強化するため、従来から同じアイシングループのブレーキメーカーとして協力してきた豊生ブレーキの第三者割当増資を引き受けることといたしました。

また、豊生ブレーキは、日清紡ブレーキ株式会社（社長：石井靖二、以下「日清紡ブレーキ」）のドラムブレーキ事業（日本・タイ）を譲り受けることで合意いたしましたので、あわせてお知らせいたします。なお、豊生ブレーキによる日清紡ブレーキのドラムブレーキ事業譲受については、公正取引委員会による承認を前提といたします。

今後は、基本ブレーキの最適な生産体制の構築や新製品開発などで連携をさらに強化し、アイシングループ一体となってブレーキ事業の競争力向上をめざします。

※1：ドラムブレーキ、ディスクブレーキなど、自動車の運転中に使用される常用ブレーキのこと。
サービスブレーキとも呼ばれる。

1. アドヴィックスから豊生ブレーキへの出資について

豊生ブレーキの主力製品であるドラムブレーキは、当面、中国やタイなど新興国を中心に緩やかな市場の伸びが期待されますが、日本を含む先進国市場においては、電動化の進展にともない、今後電動パーキングブレーキ化されていくことが見込まれます。このようななか、ドラムブレーキ事業を含む基本ブレーキ事業全般における競争力強化を図るため、豊生ブレーキとの連携を強化いたします。アドヴィックスは豊生ブレーキの第三者割当増資を引き受けて子会社化することにより、自社工場、生産子会社であるASブレーキシステムズ株式会社、豊生ブレーキの3社の間で、機動的な生産体制の整備を推進いたします。

また、開発面においてもアドヴィックスと豊生ブレーキの連携を強化し、今後の電動化への対応を含めた基本ブレーキ事業の開発体制の強化を図ってまいります。

・資本金について

現在の資本金	1,200 百万円
増資後の資本金	6,436 百万円

※単位：百万円、切り捨て

・持株比率の変更について

出資会社	現在	変更後
アイシン精機株式会社	53.1%	26.5%
トヨタ自動車株式会社	46.9%	23.4%
株式会社アドヴィックス	—	50.1%

2. 日清紡ブレーキのドラムブレーキ事業譲受について

基本ブレーキ事業の競争力強化をねらいに、ドラムブレーキを主力製品として保有する豊生ブレーキが日清紡ブレーキのドラムブレーキ事業を譲り受け、生産性の向上を図りつつ、グローバルに最適な生産体制を構築していきます。

3. 実施時期

①豊生ブレーキの第三者割当増資および持株比率変更：2018年2月末（予定）

②日清紡ブレーキのドラムブレーキ事業の譲渡：2018年2月末（予定）※²

※²：②は、公正取引委員会の承認を前提

4. 当該会社の会社概要

	株式会社アドヴィックス	豊生ブレーキ工業株式会社
本社所在地	愛知県刈谷市昭和町二丁目1番地	愛知県豊田市和会町道上10番地
代表者	取締役社長 小木曾聡	取締役社長 島貫静雄
資本金	12,209 百万円 （2017年3月31日）	1,200 百万円 （2017年3月31日）
設立	2001年7月	1968年5月

以上